

ゆめスクールプラン南部地区推進委員会だより 第 6 号

諏訪市教育委員会 教育総務課

南部地区小中一貫教育学校建設基本構想がまとまりました。

第5回、第6回推進委員会で協議された基本構想の素案について、学校の特色や目指す学校像など学校部会での検討や中洲・四賀地区で開催した住民懇談会の意見なども踏まえ、8月20日に開催された第7回推進委員会において基本構想がまとまりました。

今後は、『基本構想』をもとに、学校の構造、教室の配置、各階の基本的なレイアウトなどを示す『基本計画・基本設計』策定に向け準備を進めてまいります。

〈南部地区小中一貫教育学校建設基本構想〉（概要）

◇南部地区小中一貫教育学校3つのコンセプト

誰もが学びやすく、やりたいことを実現できる学校

- ◇自分の意見や対話が大切にされ、自分たちが考えたことを実現する機会の充実
- ◇一人一人の多様性を前提に、多様な教育ニーズがある児童生徒に応じた学びの充実により、学力・体力や自己肯定感、非認知能力等の向上
- ◇インクルーシブ教育の推進
- ◇ICTやAI技術の活用

多様性を認め合い、協働して学びあえる学校

- ◇自分を尊重し、友達を尊重し、教職員、家族など周りの人と尊重し合える関係の構築
- ◇世界に目を向け、グローバルな視野をはぐくむ学びの充実
- ◇多様な専門人材の連携（スクール・カウンセラー、スクール・ソーシャル・ワーカー、スクール・ロイヤー、看護師など）
- ◇教室以外の学びの場、学校外の学びの場との緩やかにつながる環境の工夫

地域とつながり、地域に根差した学びを大切にする学校

- ◇ふるさと諏訪への愛着がもてる学び
- ◇地域の方とともに歴史文化を継承・発展する学び
- ◇コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の充実
- ◇児童生徒や教職員と地域の方との対話の機会の充実、コーディネートする人材の活用

◇施設整備の方向性

(1) 学習環境整備

多様な学習活動が展開できる教室空間

- ・1人1台端末や電子黒板に対応したゆとりある教室の整備、個別学習・少人数学習に対応できる空間等の整備を目指します。

高機能、多機能で変化に対応できる空間

- ・可動間仕切り、可動設備の設置を検討します。

異年齢が集える空間

- ・日常的に小中学生が関わり合えるミックスゾーン、異なる学年が混ざり合えるスペースの整備等を目指します。

地域の方と交流できる空間

- ・地域の方と連携、協働する空間の整備や共有化を検討します。

自然とふれあいができる環境

- ・自然教育や畑、ビオトープ等の環境を整備します。

教室、特別教室等

- ・多様な学習活動が展開できる教室空間、支援を必要とする児童生徒が過ごす空間、読書・学習・情報のセンターとなる図書館の充実を目指します。
- ・児童生徒の動線に配慮した構造を検討します。
- ・小中9年間を見通した小中一貫教育を支える施設環境の整備、小中各専用スペース及び共有スペースの確保を検討します。

教職員が働きやすい学校としての機能向上

- ・教職員多目的スペース、教職員コミュニケーションスペース、教職員リフレッシュ空間、教職員間の連絡ツール等の整備を検討します。

バリアフリー・ユニバーサルデザインの導入

- ・エレベーター、スロープ、トイレ、医療的ケアが必要な児童生徒への設備など、すべての児童生徒に配慮した整備を進めます。

快適な室内環境

- ・内装等の木質化、空調、洋式トイレ等過ごしやすい空間の整備を進めます。

環境へ配慮した施設

・省エネルギー化、再生可能エネルギー、断熱性能の向上、ZEB の導入を検討します。

多様化する未来を見据えた学校づくり

・10 年先を意識し、柔軟な運用が可能な施設整備を目指します。

(2)通学・周辺整備

- ・通学路、周辺道路の安全対策、安全整備を進めます。
- ・スクールゾーン、歩道橋の整備を検討します。
- ・通学支援(スクールバス)の導入を検討します。
- ・放課後児童クラブの整備を検討します。

(3)地域に開かれた施設

- ・防災教育にも活用できる災害時の地域の避難拠点として防災機能を有した施設整備を目指します。
- ・地域の方々が生涯学習の場などでも活用できる施設整備を目指します。

(4)学校敷地

- ・諏訪南中学校の敷地を活用した再編整備を目指します。
- ・限られた敷地を有効活用するとともに可能な限り周辺敷地の確保を目指します。
- ・児童・生徒数の推計に基づく面積を確保します。

(5)跡地

- ・四賀小学校、中洲小学校跡地の有効活用を検討します。



諏訪市 HP にてゆめスクールプラン南部地区推進委員会
で話し合われてきた内容や資料が確認できます。

URL [https://www.city.suwa.lg.jp/
soshiki/27/59000.html](https://www.city.suwa.lg.jp/soshiki/27/59000.html)



“歩みを拓く” 3 校の児童・生徒 その⑥

☆諏訪南中学校、諏訪中学校の生徒の学習ボランティアと学ぶ 「サマースクール(夏の学習会)」

夏休み最終日の二日間には、サマースクールが行われました。

学習ボランティアとして、諏訪南中学校・諏訪中学校の生徒 18 名が関わってくれました。学習の支援もさることながら、色々とお話できた児童もいて、「中学生に教えてもらって良かった。」「始めは、緊張したけどいっぱい話せて良かった。」などといった声も聞かれました。中学生からは、「担当したのは 2 年生。勉強を教えたり、一緒に遊んだりしました。集中して問題を解いている子や漢字を一生懸命やっている子もいて、私も勉強する意欲がわいてきました。とてもよい体験ができました。(中 2)」との声も聞かれ、小中一貫教育につながる良い機会となりました。



☆夏休み、自己研鑽し“みがき”をかける南部地区の教職員

“子どもの心の成長とメンタルヘルス”

・諏訪赤十字病院の臨床心理士の先生を講師として、小学生、中学生、そして高校生と思春期に見られる子どもの心の変化について教えて頂くとともに、私たち大人が子どもにどう関わっていけば良いかについて、お話をお聞きしました。子どもの心の中に生じる、いくつもの葛藤を理解し、それを子ども自身が言葉で伝えることができるよう、私たちは「優れた聞き手にならなければ」との思いを強くしました。

・また、中洲小学校の体育館に 3 校の教職員が一同に介し、授業に使われている教育支援ソフト「スタディーノート」の有効な活用方法を学び合いました。「全体で研修ができたことは、小中連携の意味では良かった。みんなでスタディノートを使っていこうという気持ちを共有できた。」

“スタディー ノート※” を使いこなそう”

※スタディーノート：子ども 1 人 1 人が自分の考えをじっくり吟味して、デジタルノートで表現したり、情報を共有して友だちの考えに触れ、意見交換をすることで、思考力、判断力、表現力の育成にむけた学習を支援するソフト。

■ご不明な点やご意見、お問い合わせは下記連絡先までお願いします。

<連絡先> 諏訪市教育委員会 教育総務課 教育企画係

TEL : 52-4141 (内線 469) FAX 53-8299 E-mail : kyoiku@city.suwa.lg.jp